

公表事業所における自己評価結果

事業所名		地域支援センターまなびや		公表日		令和6年8月19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点
現 場 ・ 整 備 ・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○			訪問支援の際に使用する教材で何が必要であるかご教示頂きたい。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童養と、児童指導員と保育士で小学校、保育園等を手分けして対応に当たっている	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		振り返りや設定目標に関しては記録にも残しながらケース検討会議等で活用している	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの評価に関しては全職員が把握しており、保護者様の意見等会議であげてどうするべきか検討課題として取り上げている	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎週1回ケース検討会議を開いており、職員の振り返りを行いながら情報共有を図っている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	個人情報の観点から情報を外部に知られたくない保護者もいる為、第三者の選定や外部評価をどのようにしていけばよいのか課題である	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部、外部、法人内研修等、職員の資質向上のための研修を繰り返し行っている	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		計画を作成する際に、家庭訪問や、ご家族の意見、学校、保育園、幼稚園教諭等の意見等集約し、課題やニーズを計画に盛り込んでいる	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成事前のケース会議等を全職員で把握し、情報共有しながら何ができるのか、何が問題なのか検討する会議を行っている	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		学校や保育園、幼稚園教諭とは情報共有を図るとともに、必ず学校等でケース会議を行い意見等を盛り込んでいる	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に関しては職員間で共有し、会議等でどのような状況なのか担当から説明してもらいながら情報共有を図っている	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察等も含め、記録等に記入すると共に行動状況の記録も別紙で記録しながら職員共有を行っている	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		計画の中には、特に学校や保護者からの意見を中心にお互いが寄り添っているような支援内容が設定されている	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース会議等を行い、職員間で情報共有やシステム上でも共有できている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		学校への連絡等を密に行い、情報共有を図りその日の支援、分担を確認しながら実施している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問から帰ってきた職員からは必ず報告を受けながら今後の支援、振り返り等を共有している	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問支援を実施する以前に学校とのケース会議を行っており、学校側の思い、理念や方針等も聞いて支援を行っている	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		記録は必ずとり、保護者、学校等と共有している	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングは必ず行うが、学校等と意見交換や事業所に先生方をお招きしての説明等を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童養や保育士等が会議には参加している。難しいケースや保護者からの依頼があった場合は責任者も参加している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健師さんや通院先のドクターの意見等も反映しながら支援体制を取っている	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行の際は事業所に先生方をお招きし児童と触れ合いを通して情報共有を図っている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		定期的な外部研修に参加させながら質の向上や他事業所との職員交流等を図っている	
	24	「自立支援」協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		熊本市の青少年問題協議会や要保護児童対策協議会に参加している	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から保護者とは連絡をとりながら、毎日の活動記録等で情報共有を行っている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	保護者を置いてきていただいているお母さま方には情報提供を行っているが、反応が薄いことや日程調整が難しいのが現状である	なかなか家族様に参加できる研修には日程が合わないことや、必要性を感じていない保護者もあり難しさを感じる。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		担当者会議のさい等、保護者にはサインを頂く時間を頂きながら説明を行っている	
保 護 者 等 へ の 説 明 等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		担任、教頭先生等には目的等、訪問する以前に説明を行っている（ケース会議を開いている）	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の観点考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		学校でケース会議を行い、必ず保護者、学校、子どもの意見を取り入れ、色々な意見や思いを伝えられる会議を行っている	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		保護者に説明しながら同意を得ている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		毎日の連絡帳やシステム上のメールで随時相談を受け付けて対応している	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を開催し、交流を深め、ランチ会等保護者同士で開いていたりと、懇親会等にも保護者が参加するなど交流場が広がっている	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		メールや電話での相談を常に行っている為、その都度職員と共有しながら対応している	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月管理表や活動報告等をお配りしたり、Instagram等で情報発信している	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いに関しては、必ず保護者には説明行って同意を得ている	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		心理師との相談会の時間を設けたり、個別で対応できるよう配慮している	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		学校や子ども園でケース会議を行ったり学校の困り感等を聞きながら事業所でできることに取り組んでいる	
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスをやっているか。	○		訪問先の学校や子ども園とはケース会議等を行い情報共有を行っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問支援の実施後は保護者への連絡と報告を行い共有を行っている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いに関しては保護者からの同意を得て記録に残している	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		学校や子ども園の先生方とは毎回連絡をとりながら情報共有を図りながら、困り感等相談を聞きながら対応を行っている	
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルをもとに訓練や、職員、ご家族に周知しながら事故を未然に防ぐ事を意識しながら業務遂行している	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画等で研修や訓練を行い、職員が十分理解した上で支援を行っている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員がヒヤリハットした場面も記録用紙に記入し職員と共有しながら再発防止に努めている	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修を計画的に行いながら、声かけ、職員の態度等振り返りながら対応している	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束等適正化委員会等で議論しながら適切な対応の仕方を研修している	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名

地域支援センターまなびや

公表日 2006年8月19日

利用児童数 8 人 回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7	0	0	1		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	7	0	0	1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7	0	0	1		
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	8	0	0	0		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	7	0	0	1		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	2		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6	0	0	2		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
非常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	0	0	2		
満足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	3		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		

	公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
--	----	--------------------

事業所名	公表日	令和6年8月19日
地域支援センターまなびや	利用児童数	7
	回収数	7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	0	0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6	1	0	訪問がスタートしたばかりなので評価することが難しい状況にあります。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	1	0	今後さらに連携をはかり適切な支援ができると思います	
5	事業所からの支援に満足していますか。	6	1	0	訪問がスタートしたばかりなので評価することが難しい状況にあります。	
その他のご意見 ・いつも丁寧に療育（事業所内での事）の様子を教えて下さい園の事も聞いて頂けるので助かっています。 ・いつもありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。 ・訪問いつもありがとうございます。こちらからも訪問させて頂きたいです。よろしくお願いいたします。 ・訪問の報告書があれば頂きたいです。よろしくお願いいたします。 ・本人の成長を日々感じられるようになり嬉しく思います。言葉で伝えようとする力も育ち受け取る側が本人の思いに応じることができるようになったので以前ほど癇癪をおこして泣くことも見られません。 ・小集団や個別の対応で確実に本人が伸びていることが分かるので園でもできるかぎりの支援を続けて行けたらと思います。						

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	地域支援センターまなびや			
○保護者評価実施期間	令和6年7月1日 ～ 令和6年8月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	令和6年7月1日 ～ 令和6年8月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年7月1日 ～ 令和6年8月19日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7力所	(回答数)	7力所
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年8月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会福祉法人林愛会児童養護施設大隅学舎が主になっていることから、法人全体で情報共有できたり、法人で取り組むことができること	ご家族からの意見、学校の担任、支援の先生等から子どもの情報を聞いたり、送迎時でも話をしながら情報共有ができているので、今後も対話を通して活動していきたい	保育園、幼稚園、学校、特別支援学校の先生方には長期休み期間中は声をかけながら、実際に事業所の見学等を通して見てもらい、現状を体験しさらなる充実を図っていきたい
2	いつでも学校や子ども園の先生方が気軽に遊びに来れる事業所としているので、先生方にも現状を見て頂きながら説明ができ、報告・相談・連絡がしやすい環境であること	朝から登校渋りや早退等に対応する為、いつでも利用できるよう体制を準備しており、放デイ利用児童に関しては事業所が居場所となれるよう意識的に工夫して取り組んでいる	ご家族の皆様も話がしたいけど時間がない等なかなかゆっくりと相談できる時間等が持てない等の意見も多々あるので、気軽に相談できるスペースやいつでも立ち寄る事が出来る子育てサロン、母親カフェ等を設けていきながら、相談する場所の提供や一人で悩みを抱えずみんなで共有できるような場所を提供していきたい
3	毎日のシステム上（スマホ等）で活動記録が共有でき、そこにコメント等も共有できるのでタイムリーに保護者とのやりとりができるようになっていること	子ども達には沢山の事を経験させ、失敗しても成功に繋げるよう支援しながら自信をつけさせるように工夫している。また本物に触れ、見て、感じる事の体験を積み重ねていきながらなんでも挑戦できる心を養っていく療育を行っている	子ども達や保護者にとって事業所が居場所になってもらい、職員に色々なことを相談でき、ホッとできる場所として提供していきたい。またショートステイ等ができる場所の提供として保護者のレスパイトも含め、家族支援にも力を入れていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多機能型事業所として、どうしても時間や人の確保ができず、なかなか日程調整が難しい時があるので、改善や対策が必要であると考えています。	保護者向けの研修を保護者会等で行っているが、実際には日程が合わず参加できないご家族様が多く、また来て頂いてほしいご家族様は参加がないという現状があるので保護者向けの研修として誰でも参加できて、いつでも視聴できるようなZOOMでの研修があればよいと考えている	・保護者向けの研修等のプログラムがZoomで参加できるように検討しても良いのではないかな。 ・個人情報の取り扱いは十分に気を付けているが、最近は学校側（教師の不祥事・教師が長期休んでいる・子どもや保護者からの意見や気持ちが学校側に伝わりにくい）等もあり学校側からのしっかりとした情報提供も必要であり、子ども達や保護者からも詳しい情報がない為、憶測だけの情報だけが先走ってしまい、どの情報が正しいのか、事業所としてどうしていけばよいのか混乱を招く原因になってしまうため、学校側等もしっかりとした正しい情報公開をしていただき保護者会や説明会等にも参加できるよう工夫していただきたい
2	児童発達支援を利用している児童のご家族様は、ほぼ子ども園へ預けて就労されている為、タイムリーな連絡ができないことやなかなかお会いできない現状があります。児童発達支援事業所としては保護者様とゆっくりと対面での説明等が難しい現状があると考えております。		
3			